

病気・ケガ・救急対応マニュアル

生きる力の教室

目 次

1. 本マニュアルの目的
2. 緊急対応時の手順
3. 119番対応時の手順
4. 緊急連絡先

**病気
ケガ**

☎ 119

**施設長
直通**

☎ [REDACTED]

AED

**南部商業高校
☎ 098-998-2401**

1. 本マニュアルの目的

救急対応や119番通報が必要な場合において、その手順や必要な知識を職員間で共有し、円滑な対応により利用者様や職員の生命、身体の安全を確保する。

2. 緊急対応時の手順

(1) 緊急対応が必要な場合

サービス提供時に発生した、利用者様の病気やケガ、生命の危険等が発生している場合

(2) 緊急対応のための事前準備

万が一の場合に備え、利用者様の疾患情報を全職員が把握しておくこと。契約時に記載していただく「自己紹介カード」や、チャットワーク等で共有される病名・症状・アレルギーの有無を、全職員が把握しておくこと。特に、次頁の利用者様については緊急対応が必要になる可能性があるため、常に留意しておくこと。

(3) 緊急対応時の基本的な考え方

① 病気

- ・夏場（4～9月）は体温が37.5度、冬場（10～3月）は37度を超えている場合、保護者様に連絡し迎えに来てもらう。受診については保護者様にご判断いただく。
- ・高熱等でぐったりしており、保護者様のお迎えを待つ時間が30分を超える、または保護者様と連絡がつかない場合は、管理者・児発管の判断で病院に連れていき受診させる。同時に施設長や保護者様への連絡を行う。

②ケガ

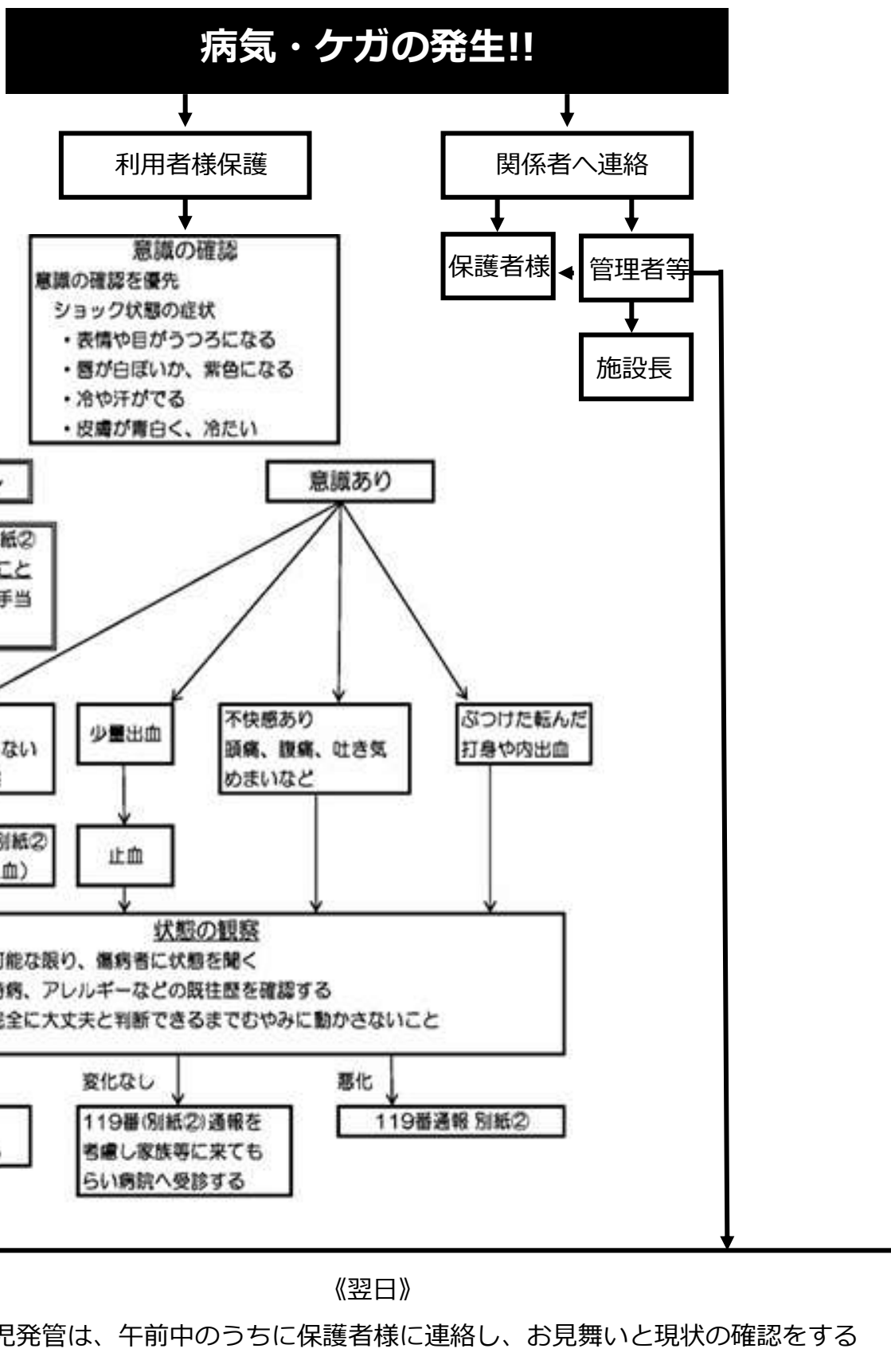
- ・頭より上の打撲や出血の場合は、保護者様に連絡し迎えに来てもらう。受診については保護者様にご判断いただく。
- ・上記の場合でケガの状態がひどい、ぐったりしている等の状態の場合で、保護者様のお迎えを待つ時間が30分を超える、または保護者様と連絡がつかない場合は、管理者・児発管の判断で病院に連れていき受診させる。同時に施設長や保護者様への連絡を行う。
- ・頭より下のケガについては、応急処置を行った上で保護者様に連絡する。迎えに来ていただくかどうかについては保護者様にご判断いただく。

③その他

- ・軽微な症状、ケガであっても、必ず管理者・児発管に報告する。管理者・児発管は、施設長に報告する。

* 緊急対応が必要になる可能性がある利用者様 (個人情報 : 高)

氏 名	病 名	留意点
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]



3. 119番対応時の手順

1. 119番にダイヤル
2. オペレーターによる問い掛け：「火事ですか？ 救急ですか？」
3. 問い掛けに対して「救急です」と答える
4. オペレーターの指示により必要事項を伝える

必要事項

◎ ケガ・病人の状況を正確に伝える

- ・ 傷病者の数、性別、年齢など
- ・ 意識、呼吸、脈拍、出血、外傷などの有無
- ・ どのようにケガをしたか、どんな状況で倒れたかなど詳しく
- ・ 現在行っている処置
- ・ 不明確な情報は逆に妨げとなる場合もあるので正確に伝えること

◎ ケガ・病人がいる施設名と施設内での場所

施設名：〇×防災コミュニティセンター 場所：1階の部屋

◎ 住所： (必要に応じて)

◎ 目印となる建物など： (必要に応じて)

◎ 通報者の名前： 電話をしている人の名前

◎ 電話番号： 今使っている電話の番号

通報後、再度オペレーターや救急車より電話があるかもしれないので、現場の状況を確認しながら、電話のそばで待機する。その際、その電話で他の場所などへ通話をしない方が好ましい。家族などへの連絡は他の電話回線を使用し、救急隊からの電話が常に取りれる状態にしておくこと。

【119番のかけ方】

- 携帯電話
通報場所や電波状況により隣接する市町の周辺につながる場合があります。この場合は、該当する地域の管轄に転送となりますので、自分がいる場所を伝えて係員の指示に従ってください。
- 一般加入電話
通常の通話要領で119番を回します。
- 黄色や緑色の公衆電話
受話器を外して緊急呼出用の119番を回す。
プッシュホン式は、赤ボタンを押して119番
- 赤色やピンク色の公衆電話
管理者に鍵を外してもらう（10円を入れても119番へは通じない）

参考資料①

心肺停止

(人口呼吸)



息を吹き込む



息が自然に出るのを待つ

口対口人工呼吸の要点

- 胸が上がるのが見えるまで
- 約1秒間かけて吹き込む
- 吹き込みは2回まで



2回目の息を吹き込む

(心臓マッサージ)



両手の組み方と力を加える部位



垂直に圧迫する



斜めに圧迫しない



肘を曲げて圧迫しない

AEDを使おう

AEDの使い方

- ① 電源を入れます。
音声の指示が始まります。



ふたを開けると
電源が入るもの
もあります。



「パッドを胸に装着してください」

- ② 電極パッドを体にはります。パッドにはる位置が描かれているので、イラストにしたがって装着してください。



2枚に
分かれている
パッド



一体型
のパッド



しっかりと皮ふ
に密着するよう
にはきましょう。

①パッドをはる時の注意点


- 汗などで胸がぬれている場合
…水分はふき取りましょう!
- 湿布などのはり薬がある場合
…パッドをはる部分は全部はがしましょう!
- ペースメーカーが皮ふの下にうめこまれている場合
…その部位をさけてはりましょう!
※ペースメーカーとは、病気の心臓のかわりに
心臓のリズムを保つ、小さな機械です。



パッドをはる時も、できるかぎり胸骨圧迫
を続けましょう!

参考資料③



0歳児	<p>背部こう打法</p> 	<p>片腕にうつ伏せに乗せ顔を支えて、頭を低くして、背中の真ん中を平手で何度も連続してたたきます。なお、腹部臓器を傷つけないよう力を加減します。</p>
1歳以上	<p>背部こう打法変法</p> 	<p>立て膝で太ももがうつ伏せにした子のみぞおちを圧迫するようにして、頭を低くして、背中の真ん中を平手で何度も連続してたたきます。なお、腹部臓器を傷つけないよう力を加減します。</p>
満5歳以上	<p>腹部突き上げ法 (ハイムリック法)</p> 	<p>後ろから両腕を回し、みぞおちの下で片方の手を握り拳にして、腹部を上方へ圧迫します。この方法が行えない場合は、横向きに寝かせて、又は、座って前かがみにして背部こう打変法を試みます。</p>

高齢者向け 窒息対応 (異物の除去)

リハビリ

それぞれの姿勢で実施可能

①ハイムリック法

・対象者の背後に回り、しっかりと両手を組む。

握りこぶしを、もう一方の手で強く握る



・握りこぶしを、すばやく手前上方に向かって圧迫するように突き上げる。



長座位



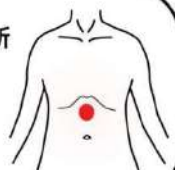
椅子座位



立位

圧迫する場所

みぞおちのやや下方を強く圧迫します。



注) ハイムリック法は、腹部内臓を痛める可能性があります。救急隊や医師へ実施の旨を伝えて下さい。

②背部叩打法 (はいぶこうだほう)

・対象者が前かがみになるようにし、胸部をしっかりと支えておく。

・対象者の背後から「左右肩甲骨の中間あたり」を力強くなんども叩く。



可能であれば

①を優先。

効果がなければ

②を試みます。

けいれん てんかん

けいれん出現時の対応

けいれんの出現時

- ①気道確保を行う
- ②ナースコールなどを使用して
応援を呼ぶ



外傷を予防する

- ①周囲の危険物を除去する
- ②ベッドからの転落を防ぐ
- ③室外の場合は、安全な場所へ
移動する
- ④衣服をゆるめる



けいれんの種類や程度を 観察する

- ①バイタルサインを確認する
- ②意識障害の有無を観察する
- ③四肢の動き(強直性、間代性、
強直間代性)を観察する
- ④けいれん開始部位とけいれん
の広がり方を観察する
- ⑤眼球の動き、頭位の異常の有
無を観察する
- ⑥発作後の麻痺の有無を観察す
る¹⁾



©2019 - かんてき

1) 松本ルミネ. “けいれん”. 脳神経疾患ビジュアルブック. 落合慈之監. 東京, 学研メディカル
秀潤社, 2009, 56-7.

おう吐物・ふん便は正しく処理しましょう

- 処理をする人自身が感染しないように、気をつけましょう。
- ノロウイルスが残らないように、確実に消毒をしましょう。
- すぐに処理できるよう、次のものを普段から準備しておくとう便利です。

処理用セット

バケツ、塩素系消毒液（次亜塩素酸ナトリウム）、ビニール又はゴム製手袋、マスク、白衣やエプロン、ビニール袋、ふき取るための布や紙など

① 処理をする人以外が近づかないようにします。

② 処理をする人は手袋とマスク、エプロンを着用します。



カーペット等は変色する場合があります。スチームアイロンなど85℃1分以上の高温で処理する方法もあります。

⑤ 汚物が付着していた床とその周囲を0.1%次亜塩素酸ナトリウムを染み込ませた布やペーパータオル等で覆うか、浸すようにふきます。



次亜塩素酸ナトリウムは鉄などの金属を腐食させるので、ふき取って10分程度たったら水ぶきします。

0.1%次亜塩素酸ナトリウムの作り方は4ページを御覧ください。

③ 汚物（おう吐物・ふん便）は、布やペーパータオル等で外側から内側に向けて、汚れた面を折り込みながら静かにぬぐい取ります。



同一面でこすると汚染を広げるので注意してください。

⑥ 使用した着衣は廃棄が望ましいですが、消毒する場合は4ページの手順で行います。



④ 使用した布やペーパータオル等は、すぐにビニール袋に入れ、処分します。



0.1%次亜塩素酸ナトリウムを染み込む程度にビニール袋に入れ、消毒することが望ましいです。

⑦ 手袋は、付着した汚物が飛び散らないよう、表面を包み込むように裏返して外します。手袋は、使った布やペーパータオル等と同じようにビニール袋に入れ、処分します。



処理後は手袋を外して手洗いをします。

※その他の留意点

- 可能ならば、処理後にシャワーを浴びる。
- 処理時とその後は、部屋の窓を大きく開けるなどして換気し、換気設備がある場合は必ず運転する。
- 下雨をしている人がいるときは、トイレのドアノブも消毒する。